

九条ネギの良さ・おいしさを八幡平市に広めたい

合同会社みのり風土 代表

村上 博信 さん

むらかみ・ひろのぶ 48歳 Ⅱ共新Ⅱ



昭和49年生まれ。奥州市出身。妻と娘2人の4人暮らし。好きなものは仕事終わりのお酒(ビール)。座右の銘は変わらないものの中に新しい変化を取り入れることを示す「不易流行」。SNSでの情報発信にも力を入れている。

「本場の京都にも負けない品質の九条ネギを作りたい」と力強く話すのは市で唯一、九条ネギ栽培に取り組む合同会社みのり風土代表の村上博信さん。「九条ネギは東北での知名度が低い。おいしさをもっと多くの人に知ってもらいたい」と意欲を燃やす。

元々、土壌改良を目的とした肥料を作る会社に勤めていたが、農業をしたことがない自分が、土壌改良の説明をしても説得力に欠けると思い、一念発起し農業の道へ。その後会社を立ち上げ、規模も大きくなる中で、朝から晩まで収穫と運搬作業の繰り返しに会社運営の意味を見出せなかった時期もあった。そんな時、京都で九条ネギを生産・販売している、こと京都(株)の人から「夏場の産地として九条ネギを栽培してみないか」と声を掛けられ、これまでメインで栽培していたきゅうりを止め、九条ネギに挑戦することに。原種

に近い品種で柔らかいため生産管理が難しいことや雨風でのネギの倒伏には悩まされるものの、京都の人に「夏のネギではみのり風土のものが一番おいしい」と言われた言葉を原動力に、日々畑と向き合う。

生産量を増やすため、栽培面積を現在の5ヘクタールから数年かけて10ヘクタールまで拡大することが目標。市の学校給食にも取り入れてもらうなど注目が高まっている中で「本場の京都はもちろん、関東以北の販路拡大に力を入れていきたい」と決意を新たにしている。



手間暇をかけて栽培した九条ネギの出荷ピークを迎え、作業をする村上さん

【広告】

いぼ、癌、免疫系等
薬のプロフェッショナルがあなたのご相談を承ります

コミュニティバス「にしね眼科」バス停すぐ

漢方のあさひ薬局 西根中学校前店

公認スポーツファーマシスト
国際中医専門相談員
認定実務実習指導薬剤師

薬剤師 齋藤 貴将

八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

■編集後記

▽子ども会が水生生物の調査をするから、見に来て」と誘ってもらい、寺田のビオトープを訪問しました。記事では紹介できませんでしたが、裸足で水辺に入り、虫網ですくったり、水カマキリ(「ミズカマ」)って呼んでましたよね)を採ったりする姿に懐かしさを感じました。

▽「成人式改め二十歳のつどい」の取材に行ってきました。会場内外で旧友たちとの再会の記念に写真を撮る姿が見られました。インタビューを通して多くの参加者は明確な夢や目標を持ち、生活していることが分かり、私が二十歳の時よりも随分と大人な皆さんでした。

◎雅